

令和6年度 データ分析に関する研修会について

前回（第2回 本部会）の協議結果

「令和6年度 データ分析に関する研修会」の開催に関し、「開催形式」及び「開催時期」の2点についてご協議いただいた。
協議結果も含めた研修会の概要は下記のとおりである。

開催形式	動画配信（研修会専用サイト内での限定配信）
開催時期	年内実施予定。 ただし、各研修会の開催と組み合わせて実施する可能性があるため、開催時期は変更になる場合がある。
開催期間	6週間程度

本日の協議内容

令和6年度 データ分析に関する研修会のテーマ及び講師についてご協議いただきたい。

- 委員事前調査結果（P3）を参考に、P2のとおり事務局案とした。
- テーマ及び講師について、ご意見をお伺いしたい。
- ご講義いただきたい内容について、ご意見をお伺いしたい。

事務局案

テーマ

データヘルス計画におけるデータの活用方法

講師

所属	氏名	備考
東京大学未来ビジョン研究センター データヘルス研究ユニット 特任教授	古井 祐司 氏	<ul style="list-style-type: none"> ○令和元年度～令和5年度 データ分析研修会講師 (令和5年度テーマ：データヘルス計画におけるデータの活用方法) ○東京都保険者協議会 保険者の取組事例の構造化事業 ご助言者 ○東京都保険者協議会 特定健診データを活用した被保険者の健康状態等の分析 ご助言者

以下の中から、ご講義いただきたい内容について、総論編から1つ、事例編から1つ選んでいただきたい

	区分	内容
1	総論編	医療費に関するデータの分析手法、データヘルス計画における活用方法
2		データから見える効果的な保健事業 ※特定健診・特定保健指導の実施率向上、医療費の削減に効果のある取組等
3	事例編	データ分析に基づく健康課題や保険者の特徴に応じた取組の好事例
4		データ分析結果を活用した関係者との連携の好事例 ※事業主、自団体の他部署、医療関係者等

今後の流れについて

本日まで協議いただいた内容をもとに、事務局で講師への調整を行う。

<参考>委員事前調査結果

テーマ	講 師	備考
特定健診・特定保健指導の受診率・実施率向上に向けた取組事例について	—	
地域包括ケア・一体的実施に関するデータの活用方法や他部署との連携方法について	—	
—	—	第3期データヘルス計画の開始に伴い、「データヘルス計画におけるデータの活用」を継続
データ分析と健康経営について	株式会社 ミナケア 代表 山本 雄士	
医療費に関するデータの活用、分析手法	東京大学未来ビジョン研究センター データヘルス研究ユニット	データヘルス研究ユニットのHPに、「ビックデータで医療費の構造を可視化」について英文が掲載されており、「レセプトデータから病気別に医療費を割り出す新たな手法を開発」と概要にある。研究内容を紹介いただきつつ、統計分析で気を付けたいこと等についての研修をお願いしたい。
データ分析から導き出された他健保の好事例	東京大学未来ビジョン研究センター データヘルス研究ユニット	
第3期データヘルス計画と第4期特定健診・特定保健指導実施計画について(基礎編)	—	
データ分析に基づく効率的な保健事業の実施について(データ分析編)	—	
データ分析に基づく効率的な保健事業の実施について(好事例編)	—	
データヘルス計画の過去 2 期における医療費削減につながった(効果のあった) 好取組事例	分析を行っている先生(教授) 又は機関	古井先生がデータをお持ちであれば古井先生
若年層(30歳代)からの保健事業	実際に行っている保険者、団体又は事業を提唱している研究機関等	40歳からでは遅過ぎる
特定健診対象者以外(若年者等)の者の健診結果の収集方法について	—	